

# 大腿骨頸部骨折

「自分の足がわりの歩行器を作ってくれた方に感謝の意を表したい」と、常々母が申しております

（2001年4月4日）

## リハビリエイド様

歩行器の取り替え用ソリを、早速お送りくださいましてありがとうございます。昨日付け替えて気持ち良く使えるようになりました。同封のアンケート用紙に記入いたしましたので、「返送いたします」。

千葉県在住 H M

## 病歴

2000年1月に大腿骨頸部(右足)骨折、ボルト固定手術の後、約2ヶ月入院し、リハビリ後退院。

入院中のリハビリではキヤスター付き歩行器を使いこなすところまで脚力がつかなかったため、退院後は自宅で、車椅子を使用するよう医師からアドバイスを受けました。

## 現在の様子

通常の老人の家庭生活(起床、就寝、食事、トイレ、テレビ、読書・etc)とほとんど同じ生活をしていきます。

再転倒予防の為、家族または付き添いさんが常時近くにいられるような態勢をとっているため、人手確保が結構大変です。介護保険は今のところ申請していません。

## 利用の状況

家の中の移動はすべてソリ付歩行器に頼っています。夜中のトイレは、退院後約半年はベッドの横にポータブルトイレを置いて使っていました。その後はどつし



てもトイレに行きたいと言って、歩行器で行くようになりました。



## 感想

82歳で大腿骨を骨折し、一時は一生車椅子生活を送るかと思われていた母が、ソリ付歩行器のおかげで家の中では一人で動き回れるようになりました。しばらく前まではトイレの往復、その他移動時には必ず付き添いでしたが、ここにきて急に足がしかりしてきた為、今は一人でトイレに行き帰ってくることも出来るようになりました。

現在は庭の散歩はシルバーカー、外出は車椅子を使っていますが、そろそろステッキ(4本足つき)を使う練習をしてみようかと考えています。

車椅子無しで外出できるようになれば楽しみも広がりますし、また病院にも気軽に行けるはず。ほんのわずかずとも体力が向上しているという事は、母本人にとっても、家族にとっても何よりうれしいことです。

母は少し以前から軽い老人性痴呆の傾向があり、もともとは非常にしっかりした人間でしたので自分の脳の衰えに時々がく然とするらしくすっかり落ち込んでしまう時もあります。もし、この1年間、母が自力で歩けない状態が続いており、それが生涯かわらないといつことになれば、母の心身のつらさはどれほどだったか想像にあまりありません。

ソリ付歩行器、そしてこのような機器を開発してくださった皆様に心より感謝しています。

ひとつだけ不満があります。

歩行器の色です。あのブルーはプラスチックバケツやビニールシートを連想させる色で、あまり好きになれません。色彩研究の結果あの色になったのでしょ

か。

ネイビーブルーでも、赤でも、グリーンでももっとおしゃれな色があるような気がするのですが？

(言い訳が届いています。)

「あのブルーが一番認知される色という事です。まだ200台しか売れていませんので、多彩な色の商品は準備できないでいます。ごめんなさい。」

(取り替え用ソリは、リハビリエイド社メンテナンソ組織確立まで、同社で責任を持って交換用を送付との事です。)

## パーキンソン病

「同じ病気を持つ方やその家族の方に情報として発信」

山口県 WK

2000.4.12

滝沢様

昨日、夕方、ソリ付き歩行器が届きました。

パーキンソン病ですから、薬が効かないと、動かない時間があるのですが、その動かない時間でもさつそく、その歩行器でトイレに行くことが出来ました。

まだ、すべるといふことで、備え付けのゴムをつけ、高さを一番下に、つけかえました。けさも、夜中に、歩行器を持って、立ち上がったといっていましたので、介助者の父の負担が少しでも、軽くなったのではと思っています。とりあえず、報告します。ありがとうございました。

2000.4.17

ソリ付き歩行器について1週間しか、使用していませんが、感じたことをメールします。

母の病状は、パーキンソン病で発症して10数年経っています。

障害者手帳は3級ですが、医者からは1級に書き直そうかと、話に出るぐらいです。

薬の効く時間は身の回りのことは自分で出来ません。

薬が効かなくなると、数ヶ月前から全然脚が動かなくなり、トイレも車椅子で連れていくようになりました。

## 日本図書館協会選定図書

### 介護・依存から自立へ 1

(ソリ付4輪歩行器による補助歩行の獲得)

監修 木村哲彦(国立リハビリ)

テーションセンター病院元院長)

発行 シビル出版 発売 星雲社

ISBN4-7952-4698-X

価格3200円 全208ページ

ご注文ははFAX又はe-Mailで!!

郵便局代金引換郵便(送料当社負担)

シビル出版(株)

FAX0466-81-0219

e-mail civil@civilnet.org

自立社会構築の為の  
機器普及プロジェクト NEWS

2003 年号

発行：  
連絡先：  
神奈川県藤沢市善行 7-5-4  
自立社会構築の為の機器普及プロジェクト  
電話 0466-81-0211  
FAX 0466-81-8815  
E-mail rehab@civilnet.org  
ホームページ：  
http://www.civilnet.org/jiritu/

ソリ付き歩行器を購入してからは、その薬の効かない時間もゆつくりですが、歩行器を押して、自分でトイレに行くようになっていきます。それで、滑りすぎないという安心感があるようです。ただ、朝起きあがるときは、腰が痛く、介助者が必要。そのときは車椅子を利用して、トイレに行っているようです。

医者は、車椅子でトイレに行く話をすると、まだ、自分で動けるはず、とのことでしたが、それはこういう、補助器具があればということなのかもしれません。

現在、寝て、起きるとき、腰が痛いようです。これも、体を動かすリハビリで痛みが軽くなればいいなと思っています。

先週の金曜日、お約束しましたが、以上が、土日、母を観察して感じたことです。

このことは同じ病気を持たれる方や家族の方に参考にしてもらえればと思っております。